

2022年10月3日

各 位

双日株式会社

双日、欧州でのグリーン水素サプライチェーン構築に向けた覚書を締結

双日は、このたび、フランスの石油製品関連基地会社の^{ルビスタ}Rubis ^{ターミナル}Terminal ^{インフラ}Infra SAS (以下「ルビスタターミナル」)、スペインのインフラ投資関連会社^{レガノサ}Reganosa ^{アセット}Asset ^{インベストメント}Investment (以下「レガノサ」)(※)と、欧州でのグリーン水素のサプライチェーン構築事業を共同で調査するためのMOU(以下「本覚書」)を締結しました。

スペインは太陽光発電、風力発電のポテンシャルが高く、総発電量に占める再生可能エネルギー発電量の割合が30%を超えており、グリーン水素の生産・供給地として期待されています。

その中でも、レガノサがLNG受入基地を運営しているスペイン北西部・ガリシア州は、北西ヨーロッパの主要港(アムステルダムやロッテルダム、アントワープなど)へのアクセスにおいて地理的優位性を有していることから、グリーン水素製造・輸出拠点の最適地の一つと考えています。

レガノサはガリシア州でのグリーン水素製造事業を推進中で、2025年に生産開始を予定している第1フェーズでは同州周辺の地元顧客にグリーン水素を供給することを計画しております。本覚書を契機として、水素・アンモニアの需要増が想定される北西ヨーロッパの主要港へ輸出することを目的に、第2フェーズとしての当該事業の拡張可能性や最適な運搬方法について、3社で調査し、検証していきます。

3社はそれぞれの事業経験、産業顧客とのネットワーク、技術的知見を結集し、脱炭素化社会実現に向けたグリーン水素のサプライチェーン構築を目指し、調査を進めていきます。

(※) Reganosa Asset Investmentの親会社であるReganosa Holdco S.A.は、双日が15%出資しているスペインLNG受入基地事業会社Regasificadora Del Noroeste SAの85%株主です。

(ご参考)

【ルビスターミナルの概要】

会社名	Rubis Terminal Infra SAS
設立年	1877年
本社所在地	33 avenue de Wagram, 75017 Paris, France
代表者	Bruno Hayem
事業内容	欧州における石油製品、液体燃料、化学品、農作物の貯蔵事業。 フランス、スペイン、ベルギー、オランダで15基の貯蔵タンクを保有。

【レガノサの概要】

会社名	Reganosa Asset Investment S.L.
設立年	2018年
本社所在地	Lugar Promontoiro, S/N, Mugardos, 15620, La Coruña, Spain
代表者	Collantes Perez Arda, Carlos
事業内容	欧州（主にスペイン）におけるレガノサグループの事業全体の投資管理。

【関連リリース】

- 2017年10月30日付リリース
「双日、スペインのLNG受入基地事業に資本参画」
<https://www.sojitz.com/jp/news/2017/10/20171030.php>

【本件に関する問い合わせ】

双日株式会社 広報部 03-6871-3404